

第 1 回府中市補助金検討会議の開催結果

- 1 日 時 平成 28 年 5 月 30 日 (火) 午前 10 時～午前 11 時
- 2 場 所 府中市役所西庁舎第 4 委員会室
- 3 出席委員 5 名 (五十音順)
大坪弘委員、木村俊介委員、熊谷麻貴子委員、清水美砂子委員、
曾我好男委員
- 4 出席職員 高野市長、田中財政担当参事、石橋財政課長、
武澤財政課主査兼行財政改革担当主査、遠藤財政課主査
- 5 傍聴者 なし
- 6 内 容 (1) 委嘱状交付
(2) 市長挨拶
(3) 委員紹介
(4) 正副会長の選出
(5) 諮問
(6) 議題
ア 府中市補助金検討会議の運営方法について
イ 会議の公開について (傍聴希望への対応及び会議録の公開)
ロ 今後の開催スケジュールについて
リ 今後の資料等の事前送付について
エ 府中市の財政状況及び行財政改革の取組状況について
ウ その他
- 7 配布資料 資料 1 府中市補助金検討会議の設置等に関する規則
資料 2 府中市補助金検討会議委員名簿
資料 3 府中市補助金検討会議の公開について (案)
資料 4 府中市補助金検討会議の今後の開催予定 (案)
資料 5 平成 28 年度財政の概要
資料 6 府中市行財政改革推進プラン (平成 26 年度～平成 29 年度)

会 議 録

○事務局 皆様、おはようございます。定刻となりましたので、ただ今から、第1回府中市補助金検討会議を開催いたします。委員の皆様におかれましては、お忙しいなか、本日の会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

会議の開催に当たりまして、初めに事務局からのお願いでございますが、議事録の作成をスムーズに行わせていただくために、会議の開催中は録音をさせていただきます。また、本日の第1回会議におきまして、広報用の写真も数枚撮影させていただきますので、合わせてご了承をお願いしたいと思います。

続きまして、配付資料の確認をさせていただきます。皆様の机の右側に、上から委員の皆様のお名前が入った委嘱状、諮問書の写し及び席次表を置かせていただいております。また左側には、会議次第のほか、資料1といたしまして、「府中市補助金検討会議の設置等に関する規則」、資料2といたしまして、「府中市補助金検討会議委員名簿」、資料3といたしまして、「府中市補助金検討会議の公開について（案）」、資料4といたしまして、「府中市補助金検討会議の今後の開催予定（案）」、資料5といたしまして、「平成28年度財政の概要」それから資料6といたしまして、「府中市行財政改革推進プラン（平成26年度～平成29年度）」を配付しております。

それでは次第に沿って進めさせていただきます。本来であれば資料1「府中市補助金検討会議の設置等に関する規則」の第6条でございますとおり、この検討会議につきましては、会長に議事を進行していただきますが、会長が決定されるまでの間、事務局で代わりに進行させていただきますので、よろしく願いいたします。

なお、本日の会議は、出席委員数が過半数に達していることから有効に成立することを報告いたします。

それでは初めに、次第の「1 委嘱状の交付」でございますが、委嘱状につきましては、本来であれば市長から委員の皆様へ直接お渡しするところでございますが、時間の関係もございまして、委員の皆様のお机の上に置かせていただきました。これをもちまして、委嘱状の交付に代えさせていただきますので、ご了承願います。

続きまして、次第の「2 市長挨拶」に移らせていただきます。会議の開催に当たりまして、高野市長から皆様へご挨拶を申し上げます。

○高野市長 皆様、おはようございます。市長の高野律雄でございます。この度は、府中

市補助金検討会議委員へのご就任をご快諾いただきまして、誠にありがとうございます。
また本日は大変お忙しいなか、ご出席をいただきまして、重ねて御礼を申しあげます。

第1回目の会議ということでございますので、一言ご挨拶をさせていただきます。

私は、本年の1月に選挙がありまして、2月から2期目の市長の職に就かせていただいておりますけれども、市民の皆様とお約束いたしました様々な公約の実現に向けまして、行財政改革の推進及び健全財政の堅持を基盤と位置付けております。また、社会の構造が変動しつつある今日においては、時代のニーズに合った変化を起こすことや、新たな事業の創造に勇気を持ってチャレンジすることが必要でありまして、職員にはこの意識を持って日々の業務に取り組むように指示をしているところであります。

このことは、今回の検討会議のテーマでもございます補助金についても例外ではない。社会の動向を捉えて不断の見直しを積み重ねることが不可欠であるというふうに認識しております。

本市では、過去にも平成16年度及び平成21年度の2回に渡って第三者機関による審議を受けたほか、最近では、平成23年度から25年度までの3か年の期間で実施をいたしました事務事業点検におきまして、いくつかの補助金について評価をいただいたところでもあります。

今回の検討会議におきましては、これまでの経緯を踏まえた上で、現行の補助金審査制度が各補助金を根本から見つめ直す機会となっているのか、あるいは社会経済情勢の変動の中で、市民の期待に応えられる形の改善に繋がられているかなどにつきまして、改めて客観的な視点でご審議いただければというふうに考えております。

また、補助金につきましては、健全財政維持の観点から適正化を目指す一方で、市民協働を更に進めるツールの一つとして、寄附制度等の他の仕組みも含めた新たな枠組みを創設するなど、新しい方向性につきましても見出していただければ幸いです。

委員の皆様には、時代に即した補助金制度の再構築に向けまして、忌憚のないご意見やご提案を賜りますように重ねてお願いを申しあげまして、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく申し上げます。

○事務局 続きまして、次第の「3 委員紹介」でございます。本日配付いたしました席次表及び資料2の「府中市補助金検討会議委員名簿」の方をご覧ください。恐れ入りますが、資料2の名簿順に各委員から簡単に自己紹介をお願いいたします。

(各委員、自己紹介)

続きまして次第の「4 正副会長の選出」でございますが、資料1「府中市補助金検討会議の設置等に関する規則」の第5条では、委員の互選により定めることとなっておりますが、いかがいたしましょうか。

○委員 先ほど皆さんの自己紹介がありましたけれども、ほとんど初対面なので、事務局の方に何かご提案がありましたら、よろしくお願いいたします。

○事務局 ありがとうございます。事務局といたしましては、自治体の財政や政策形成等に造詣の深い木村委員に会長を、また、財政や企画調整に関する自治体の実務に精通されております曾我委員に副会長をお願いしたいというふうに考えておりますが、委員の皆様、いかがでございますでしょうか。

(「賛成」の声あり)

○事務局 それでは、ご異議なしということで、会長、副会長にご就任いただく両委員から、一言ご挨拶をいただきたいと存じます。

初めに木村会長、よろしくお願いいたします。

○会長 それでは、皆さんのご推薦を賜りまして、委員長を引き受けさせていただきたいと思っております。

先ほども少し申しあげましたけれども、やはり私もこの府中市は数字で見ると非常に財政的にはいい数字を今も示しておられて、経常収支比率でいくと85%ですとか、あるいは実質公債費比率、いわゆる借金負債の額でいうと3.8%という、普通の市でいうとやらやむような、ある意味でのいい数字を示されておられるわけでありまして、そういう意味ではこれまでも非常に税收や繰入金も豊富であった時期にも、あまり無理をせずに財政運営をされてきたところが、まずその一つの証であると思っております。その一方で、全国的な問題ですけれども、扶助費の比率が非常に高まっていると、それから公共施設の更新が一気に来るということで、やはり一般財源をできる限り健全に確保しておくということが喫緊の課題ではないかというふうに思っております。

そういう意味で、この検討会のテーマであります補助金について、先ほど市長さんからもお話がありましたように、今のニーズにマッチしたような補助金に見直していくということは、大変に大事な課題であろうかと思っておりますので、そのミッションを果たすべく、皆さんのお力添えを賜りたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局 ありがとうございました。

続きまして曾我副会長、よろしくお願ひいたします。

○副会長 副会長に選任をいただきました曾我でございます。今、お話がありましたように、会長を補佐しながら、この会議が円滑に進むように自分としても力を発揮できればと思っております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

○事務局 ありがとうございます。

それでは木村会長には、会長席にお移りをいただきたいと思ひます。また、曾我副会長につきましては、検討会議が少人数ということでございますので、席札のみの表示とさせていただきます。

続きまして、次第の「5 諮問」でございます。高野市長から木村会長に諮問書の伝達をさせていただきます。

(市長から諮問書の朗読・伝達)

○事務局 ありがとうございます。

大変申しわけございませんが、高野市長はこの後、公務がございますので、ここで退席をさせていただきます。

(高野市長、退席)

○事務局 それでは、ここから先の進行につきましては、木村会長にお願いしたいと存じます。

○会長 それでは、これから先は私が議事を進行いたします。

初めに議題の「(1) 府中市補助金検討会議の運営方法について」のうち、「ア 会議の公開について」、事務局から説明をお願いします。

○事務局 それでは説明いたします。恐れ入りますが、資料3の「府中市補助金検討会議の公開について(案)」をご覧ください。

初めに「1 会議の公開」でございますが、本市ではこの補助金検討会議を含む附属機関等の会議につきましては、府中市情報公開条例により原則公開するものと定めております。本会議につきましても、資料に記載の例外規定には該当しないことから、この原則を遵守することとしたいと考えております。

続きまして、「2 傍聴希望への対応」でございますが、記載のとおり4点ございまして、1点目は、会議の開催に当たりましては、広報紙及び市ホームページで会議日程及び傍聴について掲載をする。2点目は、傍聴人数は10人以内を定員とし、前日までの申し込みを原則とする。3点目は、傍聴者は傍聴者名簿に必要事項を記入し、裏面の傍聴につ

いての諸注意を確認した上で、指定された場所で傍聴をしていただく。4点目は、資料が膨大な場合を除き、当日の会議資料は傍聴者にも原則として配付する運用にしたいと思っております。

なお、本日の会議につきましては、この公開の取扱いが決定していなかったため、開催の告知はいたしませんでしたが、次回からは事前に傍聴の募集も含めて告知したいと存じます。

最後に、「3 会議録の公開」でございますが、会議ごとに要点記録による会議録を作成し、委員の皆様が内容を確認した後に、市役所3階市政情報公開室、中央図書館、白糸台図書館、西府図書館及び市ホームページで一般の閲覧に供する形で公開したいと考えております。

なお、委員の皆様には、次の会議の開催前に会議録の案を送付してご確認をいただき、次の会議の冒頭で修正の有無を確認いたしまして、確定したいと存じます。

なお、この会議録の内容につきまして決定していただきたい点の一つでございます。会議録の中で発言者の名前を明記するか否かにつきましては、各附属機関に運用が委ねられております。議論の過程を明確にするという観点から、委員名を明記するという考えもございますし、活発な議論が抑制されないように、「委員」という表記に統一する手法もございますので、ご審議願います。

なお、ほかの附属機関におきましては、委員名を明記しない会議録の方が多くなっております。

以上でございます。

○会長 それでは今、事務局から説明をしていただきましたけれども、最後に説明があった議事録の記名の話はこの後にすることにして、まず会議の公開の方針、それから傍聴の方針につきまして、何か委員の方からご質問、ご意見があればお願いしたいと思えます。いかがでしょうか。今の事務局説明のとおりでよろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、会議の公開、それから傍聴については、今の事務局からの示された案で進めたいと思えます。

そして次に、議事録における各発言者の氏名を記すかどうかですが、先ほど事務局からの説明がありましたように、一応今のところ多いのは、特に個人名までは記さずに「委員」という形で議事録を残すという形が取扱いとしては多いようではございますけれども、この点も含め

まして委員の方々から何かご意見があればいただきたいと思いますが。

(意見なし)

特に意見がないようでしたら、それでは比較的多い個人名は記さずに「委員」という名前で発言の記録にすると、そういう形でよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長 それでは、そのようにさせていただきます。

それでは引き続きまして、議題の「(1) イ 今後の開催スケジュールについて」、事務局から説明をお願いします。

○事務局 それでは説明いたします。恐れ入りますが、資料4の「府中市補助金検討会議の今後の開催予定(案)」をご覧ください。

初めに、開催日程でございますが、11月の最終回の会議まで、概ね月1回程度の開催とさせていただきますと考えております。

なお、諮問書におきましては、余裕を持って答申期限を12月末までとしておりますが、基本的には11月までの開催を予定しております。

なお、第2回会議以降の具体的な開催日程や開催時間の調整につきましては、後ほど議題の「(3) その他」の中で改めて取り上げさせていただきます。

続きまして、主な審議内容につきまして説明いたします。本日の第1回会議におきましては、会議の運営方法のほか、市の財政状況及び行財政改革の取組状況をテーマとしておりますが、次回の第2回会議では、その後の議論の前提ともなります現在の補助金審査制度及び過去の補助金外部評価を取り上げたいと考えております。

第3回及び第4回会議におきましては、諮問事項の1つ目でございます「補助金の実績評価及び予算審査のあり方」として、全体の制度や仕組みづくりにつきましてご審議いただき、第5回及び第6回会議におきましては、補助金制度全体の見直しを具体的な補助金事業の改善にいかにつなげていくのかという観点から、諮問事項の2つ目でございます「実績評価に基づく各補助金の見直しに向けた方向性」につきまして、ご審議いただければと考えております。

続いて第7回会議におきまして、第6回会議までの審議内容を集約した答申の案につきまして精査をいただいた上で、最終的には第8回会議におきまして市長に答申していただく流れを想定しております。

なお、表の欄外にも※印で記載させていただきましたとおり、補助金事業の実態を把握

するために必要であれば、上記の開催日程の範囲内におきまして、市から補助金を受けている団体等の活動を見学する現地調査を行うことも検討させていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○会長 それでは今、事務局から説明がありましたが、資料4に記載してあります今後の開催予定ですけれども、この今後の開催スケジュールについて、ご質問あるいはご意見があれば委員からいただきたいと思えます。いかがでしょうか。

先ほど事務局から、最後に少し説明がありましたけれども、ここに書いてあること以外に、必要に応じてヒアリングですとか、あるいは現地を少し視察するというようなことも想定されているということですね。

何か以上のようなことを含めてご質問、ご意見ございますか。

(意見なし)

それでは、スケジュールについては、資料4に記してあります今後の開催予定案という事務局の案で一応進めていくと、そういう形にしたいと思えますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長 ありがとうございます。

それでは続きまして議題の「(1)ウ 今後の資料等の事前送付について」、事務局から説明をお願いします。

○事務局 それでは、この議題につきまして資料はございませんので、口頭で説明をいたします。

次回からは本会議のテーマでございます補助金の審議に入っていただく予定でございますが、補助金の制度や各補助金事業につきましては、やや込み入っている部分もございますので、会議当日に資料を配付してご覧いただくようでは、活発な審議につながらない可能性もあるのではないかと懸念しております。

また、個別の補助金につきましては、それぞれの担当部署が所管しているため、詳細なご質問につきましては、その場で事務局がお答えすることが難しい場面もあるのではないかと危惧しております。

そこで、可能であれば事前に委員の皆様へ資料を送付させていただき、お時間のある委員の方にはお目通しをしていただければと考えております。また事前にご質問をいただけた場合には、他の部署が担当する事項であっても会議の前に確認をして、会議当日に正確

なおお答えをすることができるという利点もあるものと思っております。

なお、この運用の具体的な手法といたしましては、次の2つが想定されます。

1つ目は、開催通知の郵送と合わせて紙ベースの資料を郵送させていただくものでございます。ただし、こちらの手法には当日の委員の皆様は資料をお持ちいただかなければならないというデメリットがございます。

また、2つ目の手法は、電子メールで資料のデータを送付させていただき、会議当日には別途紙ベースの資料を事務局が配付させていただく形でございます。なお、こちらの手法の場合には、できれば開催通知につきましても紙媒体ではなく、資料と同時に電子メールで添付させていただければと思っております。

事務局といたしましては、後者のデータ送付の手法の方が、確認時間の短縮等につながるものと認識しておりますが、それぞれの委員のご希望に沿った対応をさせていただきたいと考えておりますので、ご意見をいただければと存じます。

以上でございます。

○会長 それでは今、事務局から説明がありましたけれども、まず前提として、会議当日は紙ベースで会議資料は席上に用意されているということですね。それが前提で、事前の送付のやり方について、要は紙媒体で送ってもらうのがいいか、電子メールの形で送ってもらうのがいいかということですね。

○事務局 紙で事前に送らせていただいた場合には、当日、紙の資料をお持ちいただければと思っております。

○会長 その場合には持ってきてくださいということですね。

○事務局 電子データの場合には当日別途、こちらの方で印刷したものを準備いたします。

○会長 では、これは各委員によってご都合とか好みもあるでしょうから、それぞれの委員ごとに希望を伺ってよろしいでしょうか。

○委員 すみません、資料の量としては、どの程度になりますか。

○事務局 現段階では、分量についてはっきりしたことは言えませんが、議論が進んでまいりますと、議論の内容が個別の補助金などに及んでいくであろうと見込まれることや過去の会議の例を勘案すると、今後、資料の種類や分量は多くなることもあるのではないかと考えています。

○会長 他にはいかがですか。

○委員 送付の件でございますけれども、私個人的には電子メールでいただいて、それで

チェックをさせていただきながら、質問があれば事前にするということで、当日こちらの方に紙ベースで用意していただければ、それでいいかなというふうに思っています。

○委員 私の場合は、逆に現物送付でお願いできればと思います。今、ご質問があったとおり、量の膨大さがどのぐらいなのか分かりませんが、いろいろやはりページをめくって全部を見る時には、電子メールですとなかなか見られないのですね。したがって、やはり現物があった方がすぐ後ろへ戻ったり前へ戻ったり可能かなと思いますので、当日忘れないようにということで、事前に手配いただければ助かります。

○委員 私も紙媒体でお願いしたいと思います。

○委員 私も紙でお願いします。

○会長 私はメールで送ってください。

それでは資料の送付の件については、以上でよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長 それでは、続きまして本日の議題「(2)の府中市の財政状況及び行財政改革の取組状況について」、事務局から説明をお願いします。

○事務局 それでは説明いたします。この会議の主題でございます補助金の状況等につきましては、次回以降に説明をさせていただきますが、その審議のベースとなる情報といたしまして、本日は現在の本市の財政状況につきまして紹介をいたします。合わせまして、この補助金検討会議につきましては、本市が様々な取組を進めております行財政改革の一環として関連する計画に位置付けていることから、行財政改革の取組状況につきましても、簡潔に概要を説明させていただきます。

初めに、本市の財政状況につきまして説明いたします。

恐れ入りますが、資料5の「平成28年度財政の概要」の2ページをお開き願います。ページ中段にございます府中市の予算規模と推移でございますが、一番上の平成28年度一般会計の予算額は1010億円、これに各特別会計及び企業会計の予算額を加えた予算総額は2137億7208万3000円となっております。なお、右下の棒グラフに記載のとおり、本年度の一般会計当初予算額は過去最高を更新しております。

続きまして歳入歳出別に主な内訳を説明いたします。

恐れ入りますが、4ページをお開きください。初めに歳入の根幹でございます市税につきましては、ページ中段の棒グラフのとおり、平成20年度のリーマンショック以降は景気の低迷により個人・法人市民税が減少していたものの、その後は回復傾向が見られてお

ります。しかしながら法人市民税につきましては、特定の企業の業績に依存する形での回復であり、今後はその企業からの税収が激減する見通しのため、本年度は前年度比で20億円以上の減収を見込んでおります。

続きまして5ページをお開き願います。こちらの競走事業からの繰出金につきましては、本市の特徴的な歳入でございます。昭和30年から本市が大田区平和島で開催しておりますモーターボート競走事業の収益金でございます。ページ上段の棒グラフのとおり、ピークの平成2年度には約168億円が一般会計に繰り出され、高齢者関連施設や文化施設、市民聖苑の整備に繋がるなど、当時の時代背景を捉えた市民サービスの向上に寄与してまいりましたが、その後は落ち込みが続き、今後も大幅な増大は見込めない状況でございます。

続きまして6ページをお願いいたします。こちらが目的別の歳出の状況でございます。ページ中段左側の円グラフのとおり、福祉や子育てに係る民生費の割合が突出しており、これは他の自治体でも同様の傾向でございます。また、伸び率といたしましては、教育費が顕著となっておりますが、こちらは給食センター新築等の投資的経費の影響でございます。

続きまして基金及び市債の状況につきまして説明いたします。

恐れ入りますが、9ページをお開きください。家計に置きかえますと貯金に当たります基金につきましては、本市では昨年度末時点で約569億円、借金に当たります市債は約388億円でございます。概ね適正な水準でコントロールできているものと捉えております。

財政状況の最後の項目といたしまして、多摩地域26市との比較につきまして説明いたします。

恐れ入りますが、10ページ及び11ページをご覧ください。地方自治体の財政状況を測る一般的な指標といたしましては、10ページ下段の財政力指数と、11ページ上段の経常収支比率がございます。指標の詳細な説明は省略いたしますが、財政力の強さを表す財政力指数につきましては、多摩地域26市の中で第3位、財政の弾力性の大きさを表す経常収支比率は、多摩地域26市の中で第2位となっております。

このように貯金や借金の実情のほか、周辺自治体との比較結果を考慮いたしますと、本市の財政状況は盤石とも捉えられかねませんが、先ほど歳出の部分で説明いたしました民生費の増大など、今後の懸念材料がございます。さらに、競走事業からの繰出金等が潤沢

で財政状況が豊かだった時代に、他の自治体と比較して充実を図りました各種の公共施設につきましては、将来の維持補修経費や改修経費が甚大になることが予測されております。

このような見通しの中でも、財政の健全性を維持することに加えまして、社会経済情勢の変化の激しい時代の中で、市民の期待に応えられる行財政運営の実現を目的といたしまして、本市では行財政改革に取り組んでおります。その概要につきまして、各取組の規範としておりますプランに基づき、説明いたします。

恐れ入りますが、資料の6「府中市行財政改革推進プラン（平成26年度～29年度）」の2ページをお開き願います。

初めに「1 基本的な考え方」でございますが、市税を初めとする歳入の大幅な増加が見込めないなか、歳出では扶助費や施設の維持管理経費などの経常的経費のほか、老朽化した公共施設の改修等の対応が必要となってくるという状況におきましても、将来を見据えた着実で健全な行財政運営を図る必要があることから、歳出・歳入両側面からの行財政改革を推進するものでございます。

続きまして「2 位置付け」といたしましては、本市の最上位計画でございます総合計画における行財政運営に関する施策をまとめた個別計画との位置付けでございます。計画期間は総合計画前期基本計画と同じく平成26年度から29年度までの4年間としております。

続きまして8ページの上段をご覧ください。こちらは6ページから続きますプランの骨子を図式化したものでございまして、総合計画におきましては行財政運営に係る4つの基本施策の下に、78番から85番までの8つの施策を体系付けておりますが、行財政改革推進プランにおきましては、更に「市民力の活用」、「行財政改革の推進」及び「歳入確保への積極的な取組」という3つの施策を追加した11の施策からなる体系としております。

最後に、この行財政改革推進プランに記載しております補助金検討会議に関する事項につきまして説明いたします。

恐れ入りますが、19ページをお開き願います。取組4「計画の着実な推進に向けたPDCAサイクルの充実」の中に、「2-4-3補助金制度の抜本的な見直し」という個別プランを設けております。この中で課題といたしましては、過去の補助金外部評価に基づき策定した補助金等に関する見直し骨子に基づいて、抜本的な見直しが行われた補助金が少なく、審査委員会の役割強化が必要としております。これを踏まえた実施内容といたし

ましては、補助金の交付による効果を再評価し、その結果によって団体の自立を促進し、補助の見直しを図るとしております。

なお、その下段にございますスケジュールにつきましては、計画策定時点では、昨年度中の補助金審査に係る第三者評価機関の設置を予定しておりましたが、事務事業点検の総括等の他の取組との兼ね合いから、1年間遅れまして今年度の実施となったものでございます。

以上でございます。

○会長 ありがとうございます。それでは今、資料としては財政の概要と、それから行財政改革推進プランの関係部分について説明をしていただきましたけれども、今、説明のありました行財政改革の取組状況につきまして、委員の方から質問ないし意見があればいただきたいと思います。いかがでしょうか。

一つ、私の方から質問していいでしょうか。先ほどの財政の概要で、4ページのところで、市の税収の説明をしていただきましたけれども、この4ページの中ほどの市税の推移というところにあります、平成28年度の予算でかなり目立つぐらい法人市民税を落として計上されていますね。これは相当落として計上されているような印象を受けるのですが、何か特殊事情のようなものがあるのでしょうか。

○事務局 法人市民税につきましては、国の税制改正の影響で、法人実効税率の関係ですとか、法人税の一部国税化というのが今、進められております。その関係でやはり法人の方は強く見込めないということもございます。

それから、これはあくまでも当初予算ベースで減をしておりますが、府中市の場合、先ほど説明させていただきましたように、特殊法人というのが一部市内にございまして、決算ベースでいきますと、その法人の額が非常に多く入ってきておりまして、予算と比較しますと、決算の方がかなり増えている状況です。ある意味、府中市の市税の特徴的なところでもあるのですが、臨時的な法人の関係であるため、税収としては当初予算から見込めないという事情により、当初予算ではかなり低くなってしまいうということと、平成28年度は特に、法人実効税率の絡みと一部国税化の絡みの両方を見越して、法人税を少し弱く見たということでございます。

○会長 分かりました。そうすると、また更にこれから景気がやや陰ってくると、ちょっと税収の方は厳しい状況になってくるというようなことでございますか。

○事務局 税担当部局の予測によりますと、法人の実効税率と一部国税化の2つの政策が

平年ベース化されると、平成31年度からになると思いますが、更に法人税はかなり落ちるといふふうに予測しているということは聞いております。

○会長 ありがとうございます。ほかに何かありますか。

○委員 この行財政改革推進プランの19ページの2-4-3のところで、課題として「補助金等に関する見直し方針に基づく抜本的な見直しが行われた補助金は少なく」といふふうにご記載されておりますけれども、具体的にどの程度の進捗率があったのかということは何にお分かりになりますか。

○事務局 現状といたしましては、見直しを数値的な形で進捗管理は行っておりません。先ほどもお話ししました平成16年と21年の過去2回に第三者評価をお願いしているのですが、最終的には市の方の補助金審査委員会という内部の審査委員会で補助金の最終的な可否を決めており、なかなか提言をいただいてもその部分で抜本的な見直しには至っておりません。

これは感覚的な話なのですけれども、そんなに削減をされていないかなと感じております。

○委員 ありがとうございます。補助金の見直しというのは、総論賛成で、各論でいくと、なかなか進めることが難しいというのが実情なんだと思います。

○委員 すみません、質問ですけれども、補助金等審査委員会というのは市の内部の組織でしょうか。本会は補助金検討会議ですが、色々と名前がありますので、その辺りを教えていただけますか。

○事務局 補助金等審査委員会というのが、今、委員がおっしゃいましたとおり、市の職員で構成する内部組織で、毎年、補助金を審査している機関ということになります。それから皆様が今、お集まりいただいているのが、補助金検討会議で外部の第三者評価機関ということになります。補助金等審査委員会については、毎年市の方で、補助金についてある一定のルールで審査をしております、政策課が所管しております。

以上でございます。

○会長 よろしいでしょうか。

○委員 ありがとうございます。

○会長 何か他にございますか。

○委員 1点いいですか。このプランの資料6ですね、冒頭に書かれている向こう8年計画の第1期の今、平成28年度、その過程にあるということなのですけれども、いわゆる

1期4年単位でやっていきたいと思いますということだと思っておりますが、この行き着く目標にはどういふことを想定されるというか、プランとして期待をされるのか、期待値はどの辺にあるのか、少しかいつまんで概念的に分かればありがたいのですけれども。

○事務局 行財政改革推進プランのことでよろしいでしょうか。

○委員 行財政改革推進プランのことです。これが4年で、今1期目の最中ですね。更に平成33年度まで続きますよと謳われていますね。その行き着くところの平成33年度仕上がりといふゆる期待値といひますか、どういふことを市としては考える、想定されるというか。

○事務局 このプランにつきましても、総合計画という市の最上位計画の下で、同じ8年間という期間で作られております。それに基づいて行財政改革の部分を、ある意味集中的にあぶり出したような形のプランということで、行財政改革推進プランの策定をしたものでございます。今、皆様のお手元にお渡ししている前期のプランにつきましても、財政的に非常に厳しい状況の中で作られているものでして、前半の財政の部分でも約88億円の財源補填が必要だといふように示されております。そういった意味では、この前期のプランにつきましても、どちらかといふとかなり厳しい財政状況時に作っておりますので、自然と厳しい方向性といふのをプランに求めております。

平成28年度は、この前期のプランが折り返しの段階で、我々事務局として半年毎にこのプランの全庁的な進捗状況といふのを見ております。それを行財政改革推進本部という組織がありまして、そちらに半年毎に報告をしております。

今、委員がおっしゃいますとおり、目標値といひますか、遅れているプランを特に集中的に本部に報告して、このプランどおりの目標を達成するように、事務局の方では進めているといふことでございます。

後期のプランについては、社会経済状況もかなり変わってきている状況でございまして、まだ全く白紙なものですから、現段階では平成33年度の行き着くイメージといふのは明確にはございません。前期プランと後期のプランをどういふ風に繋げていこうかといふ部分もございまして、今一度プランの方も見直す必要があるものと思っております。

以上です。

○委員 分かりました。

○会長 では、他にございますか。よろしいですか。

それでは一応事務局から説明を受け、質疑を行ったということで、今後ともこの補助金

に関する議論のいわば基礎、母体としてこの財政状況、行財政改革の取組状況については参考にしていくということで扱っていきたいと思います。

それでは、最後の議題になりますが、事務局の方から「(3) その他」について説明をお願いします。

○事務局 それでは事務局から3点につきまして、お願いがございます。

まず1点目でございますが、6月11日号の「広報ふちゅう」に、この会議の委員就任に関する記事を掲載いたします。お名前のほか、学識経験者の方は所属等、公募市民の方はお住まいの町名までを掲載いたしますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

続きまして2点目は、次回以降の会議の開催日時の調整でございます。先ほどの議題でも説明いたしましたとおり、今後は月1回程度の開催となりますが、皆様のご予定も多々あるかと存じますので、本日の会議終了後に次回の第2回から8月上旬の第4回までの計3回の開催日時につきまして、一括で調整をさせていただきたいと考えておりますので、よろしくようお願いいたします。

なお、8月下旬の第5回目以降の日程につきましては、次回以降に改めて調整をさせていただければと存じますので、ご了承ください。

最後に3点目は、委員の皆様の個人番号の確認でございます。開催通知でご案内をさせていただきましたとおり、マイナンバー制度に則った番号の確認及び身元の確認が必要とされております。会議の開催前に確認をさせていただきました委員さんもいらっしゃいますが、まだされていない委員さんにつきましては、会議終了後に職員が確認をさせていただきますので、お手数をおかけいたしますが、よろしくようお願いいたします。

以上でございます。

○会長 どうもありがとうございました。それでは今、事務局から説明があったその他の事項について、ご質問、ご意見があればお願いしたいと思います。いかがでしょうか。よろしいですか。

それではないようですので、まず一応これで本日の議題は終了しましたので、これで本日の第1回補助金検討会議を終了したいと思います。

長時間に渡り、お疲れ様でございました。

――了――